

ひがしいず幼稚園だより

令和 6年10月 4日



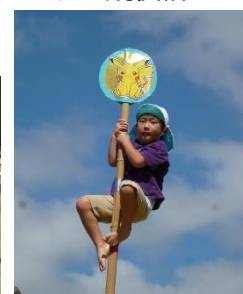
オリンピック選手みたいに…



2学期が始まって1か月。園中には子どもたちの活気ある声が響いています。

10月に入り、今まで以上に運動会練習に力が入ってきました。「リレーやりたい」「走りたくなってきた」「竹のぼり、40回やったんだよ」「もう1回やろうっと!」「今日は負けちゃったけど、明日は勝てるように頑張る!」「悔しい〜(涙)」など、それぞれが思いや感情を出しながら取り組んでいます。中には、「この前、お休みしちゃったから…」とお休みした分を取り戻そうと、友達よりも多く練習する姿も見られました。そして、「昨日より速くなったよ」「この前よりも上手くなったでしょ」と少し前の自分との変化に気づき、さらにお家の人や先生たちからの「頑張ってるね」「オリンピック選手みたいだね」の言葉が子どもたちの自信に繋がっているようです。運動会では、子どもたちの勇姿を楽しみにしててくださいね。

また、運動会は、子どもたちだけでなく保護者参加の競技もありますので、怪我のないように競技前にはしっかり体を動かし準備をお願いします。みんなで運動会を楽しみましょう!



幼稚園と小学校はつながっている

ある雨の日。熱川小学校の1年生が傘をさして畑に虫探しにきました。その様子を見た子どもたちや担任が「一緒に虫探しをしたい!」と急いで朝の仕度を済ませ、カッパを着て畑へ向いました。一緒に虫を探したり、捕まえた虫を見せ合ったりする様子はとても微笑ましく、幼稚園と小学校の自然に交流ができる環境がとても良いなと思いました。

先日、小学校に行く機会があり、1年生の生活科で「生き物が喜ぶすみかを考えよう」という授業を参観させていただきました。「虫」がどんな所に住んでいるのか、何が好きなのか、飼うためには何が必要なのかなどグループで話し合っていました。



幼稚園でも、園庭や畑で捕まえた虫をじっくり観察したり、絵本や図鑑で調べたりしています。中には、虫を見ただけで名前を答えたり、初めて聞く虫の名前を教えてくれるなどの『むし博士』もいます。幼稚園での遊びの中で学んだことが、小学校の学習につながっていることを改めて感じました。

今回は、雨が降る中でのちょっとした交流でしたが、今後は小学校に行かせてもらったり、幼稚園や畑と一緒に遊んだりするなど、交流していこうと思います。そして、稲取小学校とも同じように交流できるように計画をしていきたいと考えています。



ご飯になるまでには…

1学期に「バケツでお米を育ててみませんか?」のような少量のお米が付いたお手紙が配布されたのを覚えていますか?園でも小さな田んぼを作りお米作りがスタート!猛暑を乗り切った“ひがしいず幼米”を収穫することができました。

乾燥させた稲からお米のついた穂を丁寧に切り、割りばしで穂を挟みひっぱると…

「わぁお米だ!」と喜ぶ様子が見られました。

まだまだ脱穀や精米が待っており、見たことのある“お米”になるまでにはいろいろな工程があることを知った子どもたちです。

“ひがしいず幼米”で作ったおにぎりはきっと美味しいでしょう!

